

一般国道397号「津付道路」 事業経過報告



落合大橋と子飼沢トンネル



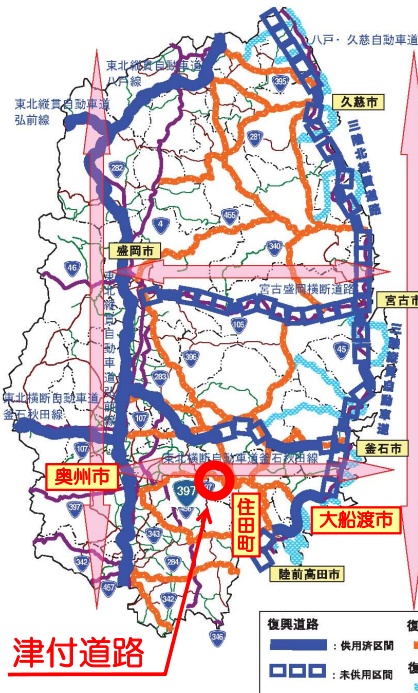
子飼沢トンネル（奥州市側）

平成26年10月26日

岩手県

1. 路線の位置付け

三陸復興道路整備事業ネットワーク図



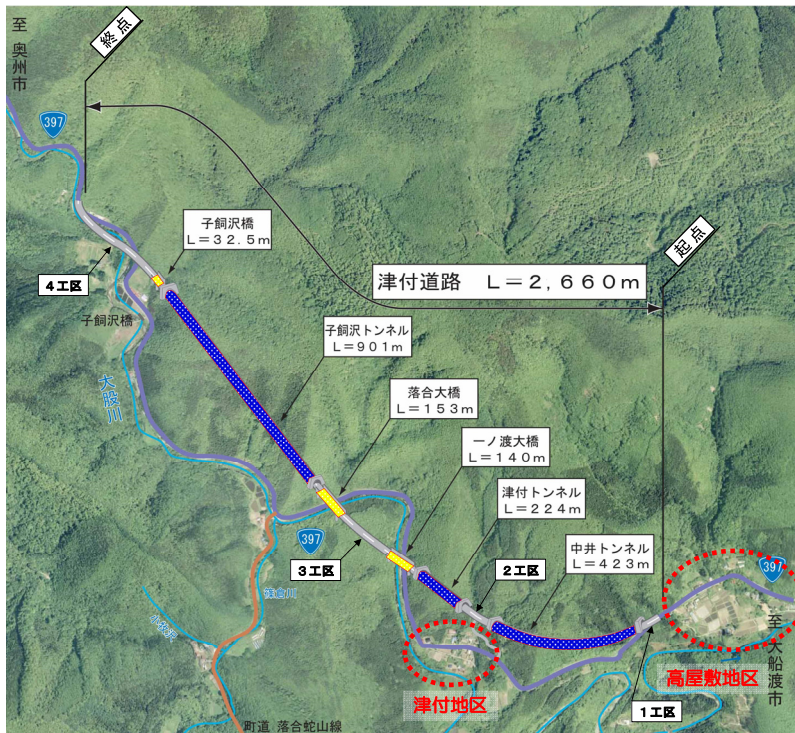
津付道路

・一般国道397号は、大船渡市から住田町、奥州市を経て秋田県横手市に至る、観光、産業振興や救急医療、地域間の交流を支える**幹線道路**

・災害が発生した場合に優先的に交通の確保を図る**緊急輸送道路**に指定している重要路線

・岩手県東日本大震災津波復興計画（復興実施計画）において**復興支援道路**に位置付けている路線

2. 開通区間の概要



- 延長：2,660m
- 幅員：8.0～9.5m
- 事業費：約69億円
- 事業期間：平成17～平成26年度
- 主要構造物：
 - 橋梁 3箇所
 - トンネル 3箇所
- 設計速度：60km/h
- 最急縦断勾配：4%

3. 期待される整備効果

走行性の向上

- せまい道路幅員の解消 (6.5m⇒8.0m～9.5m)
- 大型車のはみだし走行の解消
- 急カーブ（約10箇所）の解消
- 急勾配の解消（最急勾配10%⇒4%）
- 冬期間の円滑な通行の確保
- 走行性の向上は、交通の安全性が高まります。



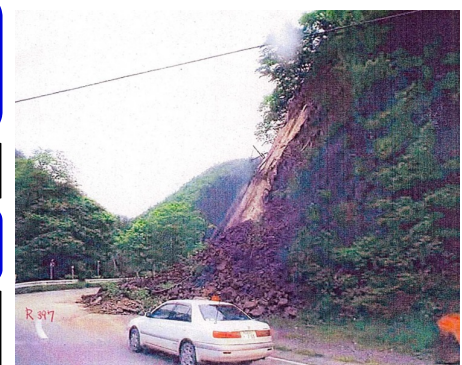
大型車のすれ違いが困難な道路幅員

大船渡～岩手県内陸部の 交流・物流条件の向上

- 大型車のすれ違い困難の解消

災害に対する安全性の向上

- 急峻地形に起因する法面崩壊、土砂崩れ等に対する安全性の向上



H15.5.26三陸南地震による法面崩壊

4. 津付道路の特徴①

環境への配慮（希少植物の移植・法面保護）

- 環境対策は、自然環境に係る周辺環境検討委員会からの助言を得ながら工事を進めた。



保全措置対象種の移植

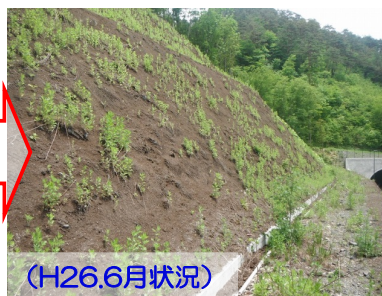


- 保全措置の対象とされた13種を移植



(H24.5月状況)

法面保護 (H22.10月吹付)



(H26.6月状況)

- 1～2年で衰退する牧草2種（イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス）を播種

- 周辺から在来種であるクマイチゴやヨモギなどが侵入

4. 津付道路の特徴②

環境への配慮（鳥類・両生類、昆虫類）

- 猛禽類への影響に配慮
- 繁殖が予想される12月～7月までの8ヶ月間（隔年）
- 工事の工程調整を実施



両生類の放流

- 三面張水路に設置した集水柵に希少な両生類を確認⇒移植を実施

- 新たに這い上がり施設を設置

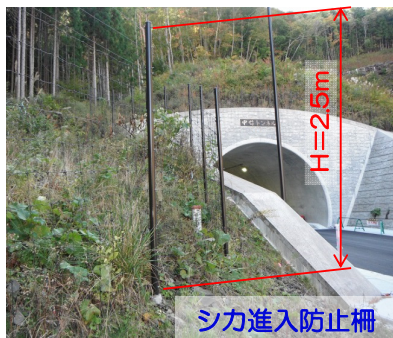


這い上がり施設

- 特定の植物を食草とする希少な昆虫類を確認⇒食草と一緒に移植

4. 津付道路の特徴③

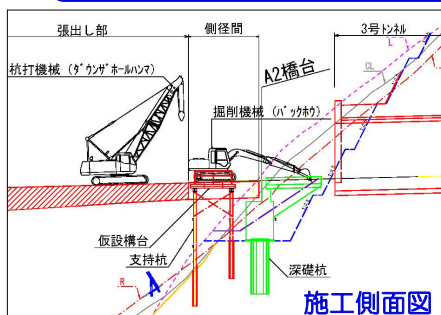
環境への配慮（ロードキル防止対策）



- シカと自動車の導線を分離するための
高さ2.5mの『**進入防止柵**』を設置
- 道路内に進入したシカを脱出させるための
『**ワンウェイゲート**』を設置
- 動物の生息域の分断を防ぐための
道路横断施設である『**ボックスカルバート**』を設置

4. 津付道路の特徴④

施工の工夫（橋台を橋面から施工）



・落合大橋では、斜面が急峻でA2橋台への工事用道路の設置に時間を要する

・施工期間をできる限り短くするため、片持ち架設途中の橋面から橋台を施工

維持管理費の縮減

基本照明



入口照明



・トンネルや橋梁の照明灯具は、全て『**LED**』を採用

・従来の照明に比べ**ランプ寿命が約4倍**

・消費電力量の縮減などで、20年ライフサイクルコストが**約5百万円縮減**（縮減率9.5%）

5. 地域の皆さんとともに

橋名板、トンネル銘板の揮毫

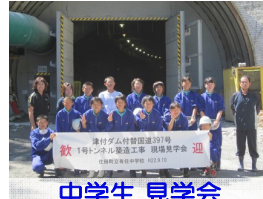
見学会・道路探訪会



出来上がった橋名板を手にする児童の皆さん



橋名板を児童の手で橋梁に取付 (H26.3.7)



中学生 見学会 (H22.9.10)



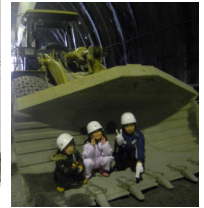
高校生 見学会 (H23.11.1)



記念の銘板レプリカを手にする生徒の皆さん (H26.2.25)



一般住民 見学会 (H24.11.18)



トンネル銘板のレプリカ

トンネル銘板



3号TN貫通式 (H25.9.27)



道路探訪会 (H26.10.13)

6. 開通にあたって

『津付道路』は、先祖伝来の貴重な土地を御提供いただきました地権者の皆様の深い御理解と御協力、地元住田町をはじめとする関係機関の皆様の多大な御尽力により、開通の日を迎えることができました。

今後も、沿岸地域の復旧・復興に大きな役割を担う本路線をはじめとした復興道路等の整備に引き続き努めるなど、復興を強かに推し進めてまいります。

皆様方のなお一層の御支援と御協力をお願いいたします。



H26.10.13 開通プレイベント『道路探訪会』